

図書館サイエンス夜話とは？

サイエンスカフェとはもともと科学者や技術者と市民が科学の話をするカフェのこと。1998年にイギリスで始まったとされています。現在では、特に飲食をする場でなくとも、語り手と聞き手が打ち解けた雰囲気の中で科学について語る場をサイエンスカフェといっています。

「図書館サイエンス夜話」は鶴舞中央図書館があいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの協力を得て開催するサイエンスカフェです。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、3夜にわたり開催いたします。皆様ふるってご参加ください。



名古屋市鶴舞中央図書館

名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
電話:052(741)9822

古紙パルプを含む再生紙を使用しています

第1夜

図書館サイエンス夜話 ブックリスト①



令和3年11月2日(火)
「接ぎ木のサイエンスで持続可能な社会へ」

名古屋大学・生命機能利用開発研究センター
生命能楽研究所 准教授

野田口 理孝氏

あいちサイエンスフェスティバル@つるま

第1夜のブックリスト

★先生のおすすめ本★

- 世界からバナナがなくなるまえに
ロブ・ダン／著 青土社 2017
- 変わる植物学広がる植物学
塚谷裕一／著 東京大学出版会 2006
- はじめての植物学
大場秀章／著 筑摩書房 2013
- 愛なき世界
三浦しをん／著 中央公論新社 2018
- テイツ／ザイガー植物生理学・発生学
L.テイツ／編 講談社 2017
- 小学館の図鑑NEO 2 植物 新版
門田裕一／監修 小学館 2018
- 野に咲く花便利帳
稲垣栄洋／監修 主婦の友社 2016

•原寸で楽しむ身近な木の実・タネ図鑑&
採集ガイド
多田多恵子／著 実業之日本社 2017

•森を食べる植物
塚谷裕一／著 岩波書店 2016

★図書館からのおすすめ本★

•世にも驚異な植物たち
博学こだわり倶楽部／編 河出書房新社
2017

外敵から身を守り、子孫を残すためには他を出し抜く力が必要となる。進化の果てに獲得した植物たちの驚くべき生き残り能力に迫る。

•植物はすごい
田中修／著 中央公論新社 2012

我々の身近に存在する植物はどのように生き、これまで存在してきたのか。植物のもつさまざまなパワーを紹介し、そのすごさをやさしく解説する。

•植物は人類最強の相棒である
田中修／著 PHP研究所 2014

植物たちの力を生かすための人間の知恵と努力、過去から現在までの共存・共生の姿などを紹介する。

•そもそも植物とは何か
フロランス・ビュルガ／著 田中裕子／訳
河出書房新社 2021

フッサールやメルロ=ポンティの現象学をベースに「植物は人間や動物とは異なる存在であり、感覚も知性もない」ことを丁寧に解説する。

•植物はなぜ動かないのか
稲垣栄洋／著 筑摩書房 2016

「強さとは何か」をテーマに、弱くて強い植物の生き方を探り、それらをわかりやすく解説する。続編の「雑草はなぜそこに生えているのか」も所蔵あり。

•そらみみ植物園
西島清順／文 東京書籍 2013

プラントハンターとして活動する西島氏が、世界中の様々な植物とその裏側にあるおもしろい物語と共に図録で紹介する。続編の「はつみみ植物園」も所蔵あり。

配架場所や予約の方法など、わからないことがありましたら職員におたずねください。